

## 「市民会議作業部会（ワーキング）」開催報告

### 矢作川流域圏懇談会「第5回市民企画会議（WG）」が開催される

#### 1. 実施概要

##### (1)実施概要

○実施日時：平成23年11月14日(火)  
18:00～20:30

○開催場所  
豊田市職員会館2階会議室

○参加者：24名（事務局含む）

##### (2)内容

###### 【会議議事】

第5回市民企画会議議事

- ①市民会議の山・川・海の状況報告
- ②市民会議の目標
- ③目標達成のために今準備すべきこと
- ④市民会議の運営方法
- ⑤地域部会の開催に向けた今後の日程
- ⑥その他



会議の様子



会議の様子

#### 2. 主な会議内容

「第5回市民企画会議(WG)」では、主に以下の内容が協議、報告された。

- 次回市民会議では、以下の課題を話し合うものとした。(後日連絡があり、山の具体的な行動プランについて資料を追加作成する事となった。
  - 海:干潟の清掃活動、干潟の生き物調査、干潟・水辺のアクセス向上、干潟・ヨシ原再生
  - 川:流域全体に関わる課題(上下流問題)、地先の課題
  - 山:誰がやるか(人と地域の問題)、何をやるか(森の問題)
- 市民会議の目標は以下の目標とすることを確認した。
  - ① これまでの活動報告や山・川・海のまずやってみよう課題の確認を通じて「矢作川流域圏のつながり」についての理解を深めることを確認した。
  - ② 課題解決に向けた展開方法に関する意見交換を通じて、流域連携について出来ること、その具体的な検討を確認した。
  - ③ 行政等との組織間連携のきっかけとなるような方策についても考えることとした。
- 市民会議参加者は行政や関係団体へ聞きたいことを考慮して意見交換を行うよう留意する。
- 市民会議の運営は活動報告と意見交換の2部構成で全体で行う。
- 第3回市民会議をうけて、山・川・海毎にワーキングを行い、行政や関係団体へ聞きたいことの整理を含めて、地域部会に向けた準備を行う。
- 全体会議は今年度中に開催することを目指す。

### 3. 会議内容

#### ○ はじめに

新規会員として、本守氏（「愛知・川の会」会長）の紹介が行われた。

#### ○ 市民会議の山・川・海の状況報告

各地域の市民会議の状況報告が下記の通り行われた。

##### 【海地域】

- ・ 海健康診断は商標登録しているため、使用の際は留意する必要がある。
- ・ 海地域は市民がやれることが少ない。豊かな海の実現を目指すことを目標とするが、アサリの目で課題をみつけていくことが重要と考えている。
- ・ 豊かな海の実現のためには、山が健康である必要があるため、連携が必要。
- ・ 海地域で検討したい「まずやってみよう課題」は、①干潟の清掃活動（ゴミ調査）、②干潟の生き物調査、③干潟・水辺のアクセス向上、④干潟・ヨシ原再生（河口部含む）の4つの課題を進めることを確認した。

##### 【川地域】

- ・ リバーキーパーズの活動は重要な取り組みであるため、市民会議で紹介することがよい。
- ・ この活動の仕組みとして、どのように団体や人々がつながっているのかが、後でみても分かるようにしておくとい。
- ・ 「第3回リバーキーパーズ「魚のすむ水路を作ろう」計画」の新聞記事（矢作新報発行）が大変分かりやすいのでみなさんに紹介する。
- ・ 河道掘削は瀬淵構造を壊す面もあるので、多自然川づくりを進めることをお願いしたい。
- ・ 市民にとって、治水の話は必ずしも理解しやすいものではないので、勉強会的に集って議論することも考えられる。
- ・ 川地域で検討したい「まずやってみよう課題」は、①流域全体に関わる課題（上下流問題）、②地先の課題の2つの課題を進めることを確認した。

##### 【山部会】

- ・ 山部会の課題については、川や海と連携する課題がやや見えにくいので、下流の人々に伝えたいことなどを示す必要もある。
- ・ 当面の課題2は取り組みイメージが難しいので、取り組みのステップ（工程）をステップに分けて進めて行く事が重要。
- ・ 当面の課題の取り組み体制、役割分担についてのイメージを明確にする必要がある。
- ・ 課題の見せかたとして、山に降った雨のうち、森の木々が消費する水の量、表面を流れる水の量、地下水を流れる水の量の割合などがわかるとよい。
- ・ 豊かな山村がなかったら豊かな海や川が成り立たない。そのため、山の担い手の話が重要となると考えている。
- ・ 山から下流をみるときは下流の都市や人間の生活を見るが、下流から山をみる場合は、

山の人間ではなく、森を見ているというギャップを認識する必要がある。

- ・ 山地域で検討したい「まずやってみよう課題」は、①誰がやるか（人と地域の問題）、②何をやるか（森の問題）の2つの課題で進めることが提案されたが、具体的な課題の内容等を具体化すると理解しやすい。

#### ○ 市民会議の目標

- ・ 市民会議の目標は、これまでの活動報告や山・川・海のまずやってみよう課題の確認を通じて「矢作川流域圏のつながり」についての理解を深めることを確認した。
- ・ 課題解決に向けた展開方法に関する意見交換を通じて、流域連携について出来ること、連携できることを具体的に検討することを確認した。
- ・ 行政等との組織間連携のきっかけとなるような方策についても考えることとした。

#### ○ 目標達成のために今準備すべきこと

- ・ 市民会議参加者は、行政や関係団体へ聞きたいことを考慮して、意見交換を行うよう留意する。

#### ○ 市民会議の運営方法

- ・ 市民会議の運営は、活動報告と意見交換の2部構成で行うこととし、意見交換部分についても、部会に分かれずに行うこととした。
- ・ 時間配分は、「これまでの活動報告」を減らし、「課題の確認と課題解決に向けた展開方法」を増やして、意見交換部分に重点をおいて進行を行う。
- ・ 「これまでの活動報告」は、ビジュアルを重視した資料にて報告する。
- ・ 市民会議の全体進行は黒田氏に決定した。

#### ○ 地域部会の開催に向けた今後の日程

- ・ 全体会議は今年度中に開催することを目指す。
- ・ 第3回市民会議をうけて、山・川・海毎にワーキングを行い、行政や関係団体へ聞きたいことや連携したいことの整理を含めて、地域部会に向けた準備を行う。
- ・ ワーキングでは、行政に聞きたいことなども含めて検討を行う。

#### ○ その他

- ・ 土砂管理に関する勉強会は来年度（平成24年度）に開催する。

以上